

湛水土中直播栽培における「コシヒカリ」の目標生育量

福島県農業試験場 種芸部・会津支場
平成8年～平成10年春夏作試験成績概要
分類コード01-01-75130000
部門名 水稻－水稻－水稻直播－施肥法

I 新技術の解説

1 要 旨

- (1) 苗立ち: 湛水土中直播栽培において、 m^2 当たり苗立ち数が多くなると稈は細稈化する。コシヒカリの m^2 当たり苗立ち数は、同一播種量でもひとめぼれ並からやや多いことから、播種量を20%程度少なくする。 m^2 当たり苗立ち数を80～100本とし過剰にならないようにする。
- (2) 倒伏: 倒伏を200以下に抑えるためには中通り、会津ともに稈長を85cm以下に抑える必要がある。
- (3) 目標 m^2 当たり粒数: 登熟歩合80%以上確保するために、中通りでは27,000粒以下とする。会津では稈長との関係から30,000粒以下が目安となる。
- (4) 施肥量: 倒伏防止、 m^2 当たり粒数を考えると、基肥窒素成分は a 当たり0.18～0.2kg(移植栽培の60～70%)に抑える。また、穂肥は移植栽培に準じて判断する。

2 期待される効果

過剰な生育が防止され、倒伏の軽減、登熟の安定化が図られる。

3 適用範囲

湛水土中直播栽培コシヒカリ

4 普及上の留意点

- (1) 株元の支持力のある湛水土中直播栽培で適用可能である。
- (2) 播種時期は4月下旬とし、出穂期を早める。

II 具体的データ等

表1 生育

場所	区名	年次	稈長 (cm)	倒伏 (0-400)	m^3 当り 粒数 (100粒)	登熟歩 合 (%)	玄米収 量 (ka/a)
郡山	0.2-0	H10	91.1	205	261	79.7	44.6
	0.2-0.2	H9	89.8	250	328	74.7	54.2
		H10	94.4	250	277	78.8	47.6
	0.4-0.2	H8	84.4	118	368	82.4	69.4
		H9	87.8	310	288	78.8	51.4
		H10	96.6	340	310	64.8	43.1
会津	0.18-0	H10	81.5	200	272	84.9	53.7
	0.18-0.2	H10	84.3	230	279	85.2	56.8
	0.24-0	H10	85	270	282	87.0	56.8
	0.24-0.2	H10	84.2	260	282	85.6	56.8
	0.3-0	H10	84.7	260	298	87.0	60.5
	0.3-0.2	H10	87.7	250	321	85.9	66.0

注) * 基肥－穂肥(kg/a) 穂肥: 出穂15日前

表2 出穂期

播種期	出穂期(月 日)	
	郡山	会津
4月中旬	—	8.10
4月下旬	8.20	8.13
5月中旬	8.23	8.20
5月下旬	8.27	—

注) 郡山(H8～10年)
会津(H9～10年)

III その他

- 1 主な参考文献・資料: (1) 平成8～10年度稲作研究室
(2) 平成9～10年度会津支場概要